大津 第83回ミニ企画展 平成21年度 新収蔵品展

近江八幡 ワンコインコンサート シリーズ39 音のおもちゃ箱

●場所:文芸セミナリヨ(近江八幡市安土町桑実寺777) ●開演:10:30(開場10:00)

※乳幼児のひざ上鑑賞は無料(ただし、席が必要な場合有料)、全席自由

山本哲子(ソプラノ)、辻寛子(チェロ)、磯部裕子(フルート)、徳田直美(ピアノ)

■場所:大津市歴史博物館(大津市御陵町2-2) ■時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)

平成21年度に新たに収集した、大津の歴史を知る貴重な資料をお披露目。

▶休館日:5/31 ●料金:一般210円 高大生150円 小中生100円

料金:500円 キッズシート(限定20席、レンタルクッション付き)500円

www.gaido.jp/0007

―プラント(工場設備)洗浄をはじめ、荷物の運搬に使うパレット(荷台) を炭にリサイクルして製品化するなど、環境保全分野での独自の活躍が注目 されているアオヤマエコシステム。起業から現在に至る道のりは決して平坦 ではなかったが、創業者の青山章さんは団塊の世代ならではの価値観と行動 主義を貫き、危機を乗り越えてきた。

人と同じ道は歩みたくない

大学1年の19歳で、単身1年8カ月の 世界放浪の旅に出た。横浜から船でナ ホトカへ渡り、シベリア鉄道でモスク ワへ出て北欧へ向かった。当時は1ド ル360円の固定相場の時代で、外貨持 ち出しにも制限があった。用意できた 旅費はわずか10万円。北欧で3~4カ 月アルバイトして旅費を補い、再び旅 を続けた。ヨーロッパをすべて回った後、 イスラエルのキブツ(農村共同体)で冬 を過ごし、トルコから陸路インドを経て、

バンコクから 船で日本へ 戻った。 この旅は、「ま

ず行動」という その後の青山 さんの生き様 を象徴している。

⑤13年式 アクティ 4WD

検査23年11月·走行39.000km

想定していた目的地は北欧までだったが、 行き当たりばったりの風任せの旅を通 して、「行動さえ起こせば何とかなる」 ことを学んだ。

青山さんは、48(昭和23)年生まれのい わゆる"団塊の世代"で、高校の同級生 は競争をくぐり抜けて9割以上が大学 へ進学した。大学を出たら、就職には また競争が続いた。「定番」のコースを

「私のチャレンジ人生」へのご意見・ご感想はこちらから www.gaido.jp/3193

歩みたくないと感じていた。若い時に 人とは違う体験をしたいと、当時人気 の小田実の『何でも見てやろう』や五木 寛之の『さらばモスクワ愚連隊』などの 本の影響もあり、放浪の旅に出た。

07(平成19)年「滋賀CSR経営準大賞」を受賞。

08(平成20)には、(財)滋賀県産業支援プラザか

「事業可能性評価Aランク」の認定を受けた。

団塊の世代は日々が競争。計画してい るうちに社会が変わってしまうので「ま ずは行動」が身についていた。旅立ち にためらいはなかった。

帰国後は大学へ戻って経済学を学び 卒業後は当時設立直後のびわ湖放送に 報道カメラマンとして就職した。「こ

> の仕事ならいろいろと社会 との接点がありそうだ。レ ンズを通して社会を見てや ろう!」との思いからだった。 最初の1年は面白かったが、 2年目からは、祭りや季 節ものの取材など、同じ

仕事の繰り返しに嫌気がさした。「昨 年の番組を少し変えればそのまま流用 できる」とさえ感じるようになり、3 年間勤めて辞めた。

海外旅行と同様に、退職にも計画性は なく、次の就職先は決めていなかった。 しばらくは蓄えで暮らし、日々パチン コと喫茶店での休憩で過ごしていた。 その喫茶店に人生の転機となる出来事 が待っていた。 **一つづく一** (取材・越智田)

掲げる。環境に配慮した企業経営が評価され、

ね食賓館四番 町ダイニング」 の1階に先月 28日、鶏料理 が自慢の「鳥あ

彦根市の「ひこ

えず てんてん」 がオープン。黒を基調とした落ち着 いた雰囲気のこの店は、昼は新鮮な 鳥を使ったランチ、夜は1串(150円~) 焼きが評判。

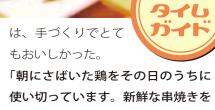
毎日新聞

今回ご紹介するのは

【てんてん定食】(880円) ・串焼き5本 ・ミニカレー ・サラダ ・スープ ・小鉢 ・ごはん

串焼きは日替わりになっており、こ

の日は少し歯ごたえの ある「つくね」、塩味で あっさりした「セセリ」、 梅肉と青じそで味付け された「ささみ」、自家 製のタレのかかった「ネ ギマ」、コラーゲンたっ ぷりの「手羽先」だった。 少し辛口のミニカレー



ぜひ味わってください」と、オーナー の木村隆輔さん。

この他、国産豚の「生姜焼定食」(880円) や「焼き鳥丼」(680円)も人気。

座敷が広く、ゆったりとしているの で家族連れや友人とのプチパーティ にも利用できる。 (取材・前川)



●彦根市本町1丁目7-34 ●TEL:0749-27-0500

●定休日:火曜日 ●営業時間: ランチ11:30~14:30、18:00~24:00(L.0. 23:00)







⑩20年式キャリイ KC

走行6,000km・修復歴無し

5M/T·白·AC·検査22年11月·

48 克巴 227 以清别



(第3種郵便物認可)

草津 さつき展

「近江湖鉢会」の会員が育てた、さまざまな樹形に、ピン クや白など色とりどりのさつき鉢物を多数展示。

●場所:草津市立水生植物公園みずの森 ロータス館内 企画展示室(草津市下物町1091) ▶時間:9:00~17:00 ※最終日は16:30

●料金:大人300円 高大生250円 小中生150円 ●問い合わせ:草津市立水生植物公園みずの森 077-568-2332

■問い合わせ:大津市歴史博物館/077-521-2100

●問い合わせ:文芸セミナリヨ/0748-46-6507

(入園は閉園30分前まで)

【出演】ミルフィーユカルテット



090-4272-3079 近江八幡 第9回いきいきフェスタ 阿波踊り、マーチングバンドの演奏、模擬店、フリーマーケットなど開催。

●休館日:なし ●料金:入場無料

■場所:近江八幡市役所前駐車場(近江八幡市桜宮町236/0748-33-3111) ●時間:10:00~15:00 ●料金:入場無料 ●問い合わせ:社会福祉法人 きぬがさ福祉会 障害者支援事業所いきいき/0748-36-7422

大津 第6回「夏の生酒」きき酒会 大津会場

日本名門酒会滋賀県内加盟店が主催する、日本全国地酒巡りの試飲会。

■場所:中国料理 かすが(大津市梅林滋賀ビル9階 鈴鹿の間/077-525-8551) ●時間:13:30~16:00 ●料金:500円 ●問い合わせ:株式会社エスサーフ/077-548-9558

竜 王 希望が丘を歩こうハイキング

彦 根 無人駅舎ギャラリー化計画4

レトロ・アバンギャルド 近江鉄道・鳥居本駅を前衛的芸術発表の場としてオープン。 29日は、現代アートの巨匠・堀尾貞治氏が希望者のTシャ

ツにペイントするライブ(限定135枚、要予約)も開催される。

場所:近江鉄道 鳥居本駅(彦根市鳥居本町647)

●時間:10:00~18:00(最終日は17:00まで)

●問い合わせ:無人駅舎ギャラリー化計画(宮原)

荒川谷源流から鳴谷池の湿原の稀少植物を見に行く。中級向け。 集合場所:希望が丘文化公園 青年の城(竜王町薬師1178 東ゲート側)

●時間:9:00~15:00 ●料金:500円 ●定員:30人(先着順)

●申し込み:「氏名・年齢・電話番号・住所」を、はがき、電話、FAX、Eメールのいずれかで。 〒520-2551 蒲生郡竜王町薬師1178 滋賀県希望が丘文化公園 青年の城

TEL/077-586-2111、FAX/077-586-1799、E-mail/kibougaoka@shiga-bunshin.or.jp

●申し込み締め切り:6/11(金) ※定員になり次第締め切り ●問い合わせ:希望が丘文化公園 青年の城/077-586-2111



姉 川

姉川の古戦場の碑が、旧野村橋の北詰めにありますが、軍勢が激 突した戦いの跡は広範囲にまたがります。長浜市から旧浅井町の 三田、大路、野村、西主計などの地区です。

浅井・朝倉連合軍1万8千人と織田・徳川連合軍2万8千人が戦っ た合戦は、信長側が勝利しましたが、信長の妹を妻に迎えてい る浅井長政が、義兄との対決をせねばならない複雑な事情があ りました。

当時、姉川の水が鮮血で染まったとのことから「血原」「血川」の 地名が今も残ります。今は、静かな姉川かいわいも、戦国武将 たちの声が聞こえそうな雰囲気も見せています。

●姉川古戦場 JR長浜駅よりタクシーが便利。

絵と文・寺田みのる



県内の風景を描きに、寺田さんがあなたの町を訪れるかも。住所、氏名、電話番号、掲載希望場所を明記してお寄せください。 インターネットからは 🗘 www.gaido.jp/mt 〒523-0893 近江八幡市桜宮町294 YP1 株式会社ヤマプラ 滋賀ガイド・Oh! Me 編集室 「あなたと歩く近江」リクエスト係 まで

